

下川淵公民館 家庭教育学級 担当：笠原由乃

わくわくクラブ

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、子ども生活や子育てについて学習しながら、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②幼児期の成長に必要な健康面・遊び・創作活動など、保護者とふれあいながら楽しく学ぶ機会とする。

(2) 概要

①対象

- 1回目 地区在住の2～5才児を持つ保護者とその子
8組16名
- 2回目 地区在住の3～5歳児を持つ保護者とその子
8組16名
- 3回目 地区在住の3～5歳児を持つ保護者とその子
12組24名

②募集方法

館報及び館内掲示、ホームページ掲載
地区内幼稚園・保育園へのチラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	講師	参加組数
1	2/22 (木) 10:00～12:00	まなんで魅せよう 「本格読み聞かせ」	お話の会もこもこ 子育てサロンスタッフ	10
2	3/ 6 (火) 13:30～15:00	つくってあそぼう 「あおむしくんの親子」	持田みね子	
3	3/20 (火) 10:00～13:00	つくってじまん「やさしいご はんとやさしい絵手紙」	笛木京子 下川淵絵手紙の会	

(4) 評価と反省

①まなんで魅せよう「本格読み聞かせ」

子育てサロンとの共同開催ということで、子育てサロンへの普段からの参加者と講座への参加者（子育てサロンには参加したことが無い人）の交流時間を作ることができ、子育てサロンと公民館双方にとって宣伝となったことが良かった点と感じる。

反省点として、参加者を未就学児（2～5才）としたが、その年齢の子どもは既に保育園幼稚園に行っている子ばかりのため、平日午前の開催ではなかなか参加者が集まりにくいことをわかっていなかったことがあげられる。子育てサロンとの共同開催はこれからも続けていきたいが、その場合は夏休みや冬休みに合わせて平日でもこられるようなタイミングで行いたい。



読み聞かせについての講義



たくさんの絵本をご紹介いただきました

②③はこれから開催予定です。

下川淵公民館 少年教室 担当：笠原由乃

夏休み教室

(1) ねらい

- ①夏休みを利用して、昨今減少傾向にある「体験」の場を提供することにより、次代を担う子どもたちの好奇心や創作心・生きる力を養うことを目的とする。
- ②それぞれの活動で学校・家庭とは異なる学びにより、子どもたちの視野を広げる。

(2) 概要

①対象

- 創作教室 地区在住小学3年生～6年生16人
科学教室 地区在住小学4年生～6年生16人
食育教室 地区在住小学生16人
野外教室 地区在住小学3年生～6年生20人

- ②募集方法 館報掲載・館内掲示・ホームページ掲載
地区小学校全クラスへのチラシ配布

(3) 内容

①創作教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	7/27(木) 10:00～12:00	陶芸教室(成形) ～粘土をこねて形を作ろう～	制作	自主グループ 下川淵陶芸クラブ 会員 12人	16
2	8/10(木) 10:00～12:00	陶芸教室(色付け) ～色を選んで付けよう～			16
3	8/24(木) 10:00～11:30	陶芸教室(仕上げ) ～自分の作品に出会えるよ～			16

②科学教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/7(月) 13:30～15:30	液体の性質を調べてみよう	実験	萩原 貴子 (地区在住講師)	7

③食育教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/21 (月) 9:00~12:00	～自然なごはんをつくろう～ 夏野菜のライスサラダと 旬の果物のサワードリンク (オーガニック食材を使用)	調理実習	岩田 桃	16

④野外教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/ 4 (金) 8:20~15:30	おもしろ発見をしにいこう (サンデンフォレストにて森 林ウォーキング+自動販売機 工場/博物館の見学)	探検 見学	サンデンフォレス ト職員+地区住民 (協力者として同 行)	13

(4) 評価と反省

①陶芸教室

例年大人気の講座であるが、講師をお願いしている下川淵陶芸クラブの方々の高齢化とメンバーの減少から、募集人数を減らしてほしいとの依頼があった。そのため今年度は昨年度の20名から16名へ定員を減らしての開催だったが、その分指導がくまなく行き届き、参加した子どもたちはそれぞれクオリティの高い作品を作ることができた。需要と供給のバランスをうまくとりながら、これからも人気の講座として続けたい。

②科学教室

少年教室への参加割合が低い高学年を対象とした講座だったので少し人数の集まりは悪かったが、その分丁寧に説明や実験を進めることができた。普段の生活の中にあるものを使った実験や演習で、縁の無いと感じがちな科学が、実は身の回りのほとんど全てに潜んでいるということを実感してもらえたのではないかと思う。夏休みの自由研究や普段の理科の勉強にも活きるとても有意義な内容の講座だったので、来年度以降はその部分を強調した告知で、参加者の増加を図りたい。

③食育教室

昨年度の反省として、「化学調味料・精製されたもの等、心身や地球環境に負担のあるものは使用しない」という趣旨で講師に講座の依頼をしたが、結果的にはドライイーストやケチャップ・普通の

ベーコン・白砂糖の使用があった。今年度は、より「自然に近い調理」に詳しい菜食研究家（ドーナツスタンド monsoon donuts 店主）に講師依頼をし、自然栽培や有機栽培の野菜を使用し、味付けや天然塩や昔ながらの製法で作られた酢などでシンプルな調理実習を行ってもらった。また実習だけではなく、「自然にやさしいとは？」「なにがいいの？」等の講義もはさんだ。例年より品数は減ったが濃密な内容で、またとてもシンプルで家でも再現可能な料理は大変講評だった。

現代は化学物質アレルギーの人が増加し、食の安全が今まで以上に重要になっている。このような本当に安心して参加できる食の講座をもっと増やしたい。

④野外教室

昨年度の参加者からとったアンケート結果と保護者の声から、4年ぶりに野外学習の講座を復活させた。ゼロからの講座組み立ては不安な部分も多かったが、協力者として地域の方5名に同行していただきとても助かった。豊富な知識と経験で子どもの相手やバス内でのレクリエーション等していただいたことは、職員の精神的な負担軽減になり、更に世代間交流にも繋がった。講座後に「子どもはこの前の野外教室で〇〇さんと仲良くなったらしく、道で会うとよく話している」と保護者の方から教えていただき、地区の異世代の方に少年教室に協力していただくことはとても意味があると感じた。



陶芸クラブ会員による丁寧な指導



科学教室の様子



材料は全て有機もしくは自然栽培



食育教室の様子



片付けまで子どもが行う



ライスサラダと果物シロップ



自動販売機ミュージアム



青空の下、竹を使った箸づくり



森林ウォーキング



昼食の様子

下川淵公民館 高齢者教室 担当：國定 享

(1) ねらい

- ①高齢者の「生きがい」、「他世代との交流」をキーワードに仲間との交流だけでなく、世代間の交流を深め、進んで知識や教養を高める。
- ②積極的に地域活動に参画できる手がかりとする。

(2) 概要

地域の高齢者を対象。しめ縄づくりでは、地域の小学生とその父母も対象にして世代間の交流を図る。

(3) 内容

回	日時(場所)	学習内容	学習方法	講師	参加人数
1	11/22 (水) 10:00～ 12:00	「いきいき健康教室」 ～歯周病と糖尿病の意外な 関係、今日からはじめる運 動～	講義	前橋市健康増進課 職員	22
2	12/8 (金) 9:30～ 11:30	しめ縄作り事前学習 (しめ縄の由来、しめ縄作 りの実習)	講義 学習	地域協力者	15
3	12/16 (土) 9:30～ 11:30	世代間交流 しめ縄作りの指導 (地域の子供達やその父 母に対する指導)	講義 実習	地域協力者 及び老連役員	19
4	1/19 (金) 10:00～ 12:00	「自然に親しみ花を愛で 登山を楽しむ」	講義	日本100名山完登 登山愛好家 根岸 輝治	37
5	1/24 (水) 10:00～ 12:00	「古文書に親しむ」	講義	群馬県立文書館 指導主事 関口 荘右	20
6	2/14 (水) 10:00～ 12:00	「上州女の哀しい歴史 ～女性の人権を考える～」	講義	民俗研究家 酒井 正保	26

(4) 評価と反省

地区老人クラブ連合会と連携・協力し運営を行った。開催時期については老人クラブ連合会との協議で今回も秋季から開催となった。

講座内容については、話題性の高いものや健康面を中心に設定し、身近なテーマで参加しやすい内容とした。アンケート結果も概ね好評だった。

毎年実施しているしめ縄づくり教室では、老人クラブ役員が地域の子供もたちや若い父親、母親に対して昔からの伝統行事であるしめ縄飾りの作り方を教えながら世代間交流を図ることができた。



< 第 1 回いきいき健康教室 >



< 第 3 回しめ縄づくり >



< 第 4 回自然に親しみ花を
愛で登山を楽しむ >



< 第 5 回古文書に親しむ >



< 第 6 回上州女の哀しい歴史～
女性の人権を考える～ >

下川淵公民館 生涯学習奨励員研修 担当：國定 享

(1) ねらい

①町ぐるみ、地域ぐるみの生涯学習活動を一層推進し、具現化するための知識、技術などを学ぶとともに、各町での取り組みについての情報交換もあわせて行う。

(2) 概要

生涯学習奨励員及び自治会長を対象に研修を行い、地域づくりを意識した生涯学習活動について学ぶ。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	11/24 (金) 野外学習 8:30~16:10	野外研修 ・前橋市内 「マチダ平和資料館」「プラス ランド」「電力中央研究所」	視察見学	施設担当者	23
2	2/28 (水) 19:00~20:30	「養蚕農家建築の価値」	講義・討議	群馬県文化財 保護審議会 副会長 村田 敬一	24

(4) 評価と反省

第1回の野外研修は、自治会連合会と合同で開催し、生涯学習奨励員が中心となって「地域の歴史・文化を学び地域の生涯学習に活かす」をテーマに、企画・運営を行った。

オフィス家具を生産するプラスランドでは、品質向上に向けた日々のたゆまぬ取り組みを肌で感じることができ、また、電気事業の総合研究機関である電力中央研究所では、太陽光発電等、電力の安定運用に向けた取り組みについて学び、日進月歩で進む研究を目の当たりにし大いに感心した。

第二次世界大戦時の様々なものを展示するマチダ平和資料館では、展示品の説明やエピソードなど貴重なお話を聞くことができ、また実際に手にとって見ることもでき、その時代を生きた人々の思いや時代そのものを身近に感じることができた。前橋市内の貴重な歴史文化や産業など、実際に目に触れ肌で感じることで、今後の地域理解や学習に大いに資することができたと考える。

第2回では、「養蚕農家建築の価値」と題し、当地区にも存在する養蚕農家建築について、世界遺産となった富岡製糸場や田島弥平旧宅などと絡めて、大変詳細に、建築図面や写真などを交えながら学習することができた。何故養蚕農家建築が世界遺産となったのか、その価値を理解する大変貴重なお話を伺うことができた。大変養蚕が盛んだった群馬県ならではの歴史文化遺産ということで、これらをどう次世代に引き継いでいくかが大変重要なことだと、文化財保護を最前線でやられている先生の話から、肌で感じることができ、大変有意義だった。



< 第 1 回 野外研修 >



< 第 2 回 「養蚕農家建築の価値」 >

下川淵公民館 地域づくり講座

普通救命講習会 担当：塩川 栄一

(1) ねらい

- ①傷病者の発生や災害などの不測の事態に備える。
- ②適切な応急手当の知識及び技術を学ぶ。

(2) 概要

中学生以上の地区住民を対象として実施。応急手当の基礎知識に関するDVDを鑑賞後、4班に分かれて実技指導を行った。

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師	人数
7/2(日) 13:30～16:30	心肺蘇生法、AED 使用法	講義及び実技	前橋市消防局南消防 署第一中隊 田島 憲司	18

(4) 評価と反省

5年連続で本講習会を開催している。地区住民の救命や応急手当に対する意識の高まりを感じた。少人数の班編成により丁寧で具体的な指導のおかげで、各班で質疑応答が活発に行われ、参加者は熱心に取り組んでいた。

救急の際に何をすべきかの意識と対応能力の向上につながるものと考え、より多くの人に習得させるために、今後も定期的で開催したい。



普通救命講習会



防災講座

防災講座 担当：塩川 栄一

(1) ねらい

- ①下川淵地区では自主防災組織が未結成の自治会が半数以上あるので、「自分たちの町は自分たちで守る」という考えのもと、地域住民の防災意識と地域防災力を高める。
- ②自主防災組織の必要性や活動について理解を深め、自主防災組織の結成を推進する。

(2) 概要

自治会役員など下川淵地区住民を対象に、全2回の連続講座として開催した。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師	人数
1	6/16 (金) 19:00~20:30	自主防災組織の結成と活動について	講義	前橋市危機管理室防災アドバイザー 稲葉 和弘 高橋 みどり	73
2	6/23 (金) 19:00~20:00	活動事例の紹介～先進地区の自主防災組織から学ぼう～	講義	駒形町自治会自主防災会副会長 齋藤 千代松	70

(4) 評価と反省

近年の災害の増加に地域で対応するため、下川淵地区の自治会役員を対象に同講座を企画し開催した。前橋市危機管理室防災アドバイザーから、「普段は安全な地域であるが、安心は禁物。自主防災会の設立と活性化により地域を守る準備をする」など、さまざまな防災知識を学び、さらに前橋市内で特に自主防災活動が活発な駒形町自治会自主防災会の活動事例を聴講したことは、今後の自主防災会の新たな設立や防災活動への一層の取り組みを図るという点で、とても有意義であったと思う。

花と緑の講座(環境講座) 担当:内田 あけみ

(1) ねらい

下川淵地区の地域づくりの一環として、「花と緑の講座」を花結びの会と共催で開催し、各町や地区の方々の花づくりに活かすとともに、地域の方たちとの交流をとおして、地域の環境づくりへの参画の手がかりとする。

(2) 概要

対象者 : 主に下川淵地区在住・在勤の一般成人

共催 : 花結びの会

募集方法 : 館報に掲載、自治会回覧、チラシ掲示

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師	人数
3/5 (月) 10:00~12:00	・春の花の寄せ植え ・花をとおしての人とのつながりについて	実習	天田 玉江	

下川淵公民館 自主学習グループ支援事業 担当：塩川 栄一

(1) ねらい

①下川淵公民館を利用して文化やスポーツ等の学習活動をしている自主グループの会員が、互いに学び合い交流を深める。

②より良い生涯学習活動や地域文化の向上について考え合う場とする。

(2) 概要

対象は、下川淵公民館を定期的に利用する自主グループ会員。第1回と第3回は公開講座とし、公民館報や館内掲示などで広く周知した。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師	人数
1	7/11(火) 13:30～ 15:00	講演 「これって常識、非常識？」	講義	群馬大学・パース大学非常勤講師 竹澤 泰子	97
2	10/3(火) 7:00～ 18:30	日光東照宮、日光田母沢御用邸記念公園 ほか	野外研修		98
3	1/28(日) 13:30～ 15:30	シャンソンコンサート「日曜の午後のひととき、シャンソンでフランスの風を感じよう！」	鑑賞	シャンソン歌手 中野 新太郎	88

(4) 評価と反省

研修内容は、自主グループ連絡協議会の本部役員会議及び代表者会議で検討した。当日の役割も本部役員で分担して、自主的に運営を行った。

講演は、常識か非常識かについての日本と外国との違い、日本と外国の歴史文化の違いなどを具体的かつユーモアに講義していただいた内容であり、また、シャンソンコンサートとともに、参加者にとって日常生活上、大変有意義であった。

野外研修は、企画立案や旅行会社との打ち合わせ、さらに現地の下見まですべて本部役員が主体的に行い、会員同士が親睦を深め合う良い機会となった。



講演「これって常識、非常識？」

